

平成20年度 各協議会・部会活動報告

《病院栄養士協議会》

国仲 朝代

平成20年度から医療制度改革に伴い、『特定健診・保健指導』がスタートしました。取り組み始めた施設では、保健指導のフォローアップをしています。また、4月からの診療報酬改定にあたり『後期高齢者退院時栄養・食事管理指導料(180点)』が新設されました。7月に県内の病院へのアンケートを行いました。実施されている施設は少ないようです。その他、厚労省・腎臓財団・日本栄養士会・医師会との研究事業『CKD』が10月から始まり、病栄協と地栄協の協力体制で取り組んでいます。医療という枠に留まらず、他の協議会・職域との連携を実践し始めた平成20年度の病栄協の活動でした。

研修会

平成20年6月6日(金) 診療報酬に関して

平成20年12月6日(土) 医療と福祉における栄養管理セミナー

活動

- * かりゆし県民フェスティバル(展示・栄養指導)
- * 医師会シンポジウム(展示・栄養相談)
- * 糖尿病習慣行事(展示・栄養相談)
- * 南部・中部・北部地区糖尿病連携会議、南部地区医療圏域連携会議

《地域活動栄養士協議会》

狩俣 美智子

平成20年度は特定保健指導が開始され、会員の活力が試される機会と気構えをした年であったが、導入の年とあってか要請がなく予想外でした。

活動としては、医院やクリニック、市町村ヘルスアップ事業における栄養相談、保育園や学校、地域での食育の講師、高齢者の介護予防教室の講師、“外食アドバイザー派遣事業”等活躍の場が増えました。また今年度は、広範囲の地域に於いて簡単ヘルシー料理を紹介するとともに、栄養相談をする機会が与えられたり、リゾートホテルでの栄養士業務が展開できました。

食育研究会は、健康おきなわ21推進事業・普及媒体や「うちなー版食育カルタ」媒体の作成を手掛け、多くの会員が県内のイベント等にかかわり、マスコミの執筆依頼、出演依頼にも対応するなど幅広く活動することができました。

各自が持てる力を出し合い情報を共有しつつ新しい仕事にも挑戦できるよう取り組んでいければと思います。会員の皆様には、各事業に快く対応していただき深く感謝いたします。

会員の皆様のご指導、ご意見を希望し、定例会への参加をお待ちしています。

定例会・・・毎月(1月、8月を除く)第3土曜日10時~12時 栄養士会事務所

(変更や中止もありますので、事務局に確認してご参加ください。)

《行政栄養士協議会》

田場 美智子

特定健診・特定保健指導がスタートし1年余が経過しました。市町村管理栄養士調査によると平成20年度の市町村の栄養士数は79名(管理栄養士39、栄養士40)うち20名は20年度の新たな採用となっており、特定保健指導業務に55名の栄養士・管理栄養士が関わっているという報告があります。21年度は昨年の保健指導結果を踏まえ、保健指導を実施していく年であり、一定の成果が期待される年でもあります。

平成20年度の地域活動栄養士研修会(地栄協との協働開催・県受託事業)は、南城市、石垣市の2会場で実施、約50名の参加がありました。食育基本法に伴う「食育推進計画」について、計画の趣旨や位置づけ、基本的な考え方等、さらに琉球料理の歴史を振り返り、食文化の伝承について考え、あらためて食育と栄養士の役割について確認し、今後の幅広い食育活動に役立てることを目的としました。

また、平成20年度から情報の周知を図る一方法として、全国行政栄養士協議会からの情報提供メールを「アドレス登録会員」への転送を実施しているところです。

地域における行政栄養士による健康づくり及び栄養・食生活の改善の基本指針(平成20年10月厚生労働省健康局より通知)が定められ、保健対策における健康づくり及び栄養・食生活の改善等、地域の特性に応じた施策の推進が今後ますます重要となってきています。

《福祉栄養士協議会》

山内 久美

平成20年度は、「沖縄タイムスコラム」の掲載に、「がんじゅうカレンダー」の作成・販売と福祉栄養士協議会にとりましては、仕事の合間での活動に大変忙しい1年でありましたが、各方面からの評価をいただき大変光栄に思っています。又、私達も、組織の連携、協力体制の強化を図ることが出来ました。さらに、多くの会員の協力の下「がんじゅうカレンダー」販売もスムーズに行うことが出来ました。「クッキング講座」を北部で開催するにあたり、多くの参加があり、全国福祉栄養士協議会でも評価されたことに感謝致します。

平成20年度も福祉栄養士協議会(老人・児童・障害)独自の研修会を日本栄養士会全国福祉栄養士協議会(政安静子会長)のご厚意で東京大学大学院教授佐々木敏先生を講師に研修会を開催する事が出来ました。日中の業務の忙しい中、各調査研究依頼へのご協力、また協力事業等へ多数のご参加いただき、ありがとうございました。

沖縄タイムスコラム掲載 渡真利聡子(8/9)・椿和子(8/16)・諸見里美(8/23)・金城朝子(8/30)
山内久美(9/13)・金城小夜子(9/27)・花城政子(11/5)

各部会活動 老人部会：年4回の学習会、老健施設部会：年4回の学習会、
児童部会：毎月の学習会、障がい部会：年3回の学習会、
福祉協議会定例会：毎月第3水曜日19：30～栄養士会事務所
多くの会員の参加お待ちしております。

研修会 全国福祉栄養士研修会・・・東京 第13回専門研修会・・・静岡県熱海

《学校健康教育栄養士協議会》

金城 奈津子

平成20年度は県栄養士会主催の独自事業、委託事業に参加しました。ご協力いただいた会員の皆様、ありがとうございました。

今年度は食育カレンダーを作成することとなりましたので、会員の皆様の積極的な参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

(主な活動報告)

- ・ 栄養ケア・ステーション(電話相談)
- ・ かりゆし県民フェスティバル
- ・ いい歯のイベント
- ・ 運動指導士会県民公開講座
- ・ 沖縄県栄養士会肥満改善大作戦シンポジウム
- ・ 浦添市まじゅん健康、検査フェスタ

《集団健康管理栄養士協議会》

儀保 玲子

平成20年度は県栄養士会主催の独自事業、委託事業に参加しました。集団健康管理は会員が少なく、協議会独自の事業は難しいのが現状です。

平成21年度は、会員同士のつながりを深めていき、沖縄県栄養士会主催の事業等に積極的に参加していきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

《宮古栄養士会部会》

饒平名 房枝

宮古部会の今年度の活動目標は、会員相互の和合であり、今後部会の運営がスムーズに取り込めるように、会員が楽しく定例会に参加できるように努めました。

活動として、調理実習(簡単なお菓子作り、手作りパン教室)など実施しました。

11月には療養部会の金城典子先生を招いての勉強会(糖尿病の栄養指導パート2)を実施しました。離島ゆえ講師を招いての栄養士の学習の場が少ないので、できるだけ機会を設けて勉強会が開催できたらと思っています。

また、1月には新年会も兼ねて、会員の健康増進の一助として、新春ウォーキングも実施しました。それから宮古島市役所健康増進課の「健康増進計画」推進委員会に栄養士会宮古部会として参加し、増進計画の今年度実施目標の見直し等の確認もしました。

今後栄養士会として、会員の資質の向上と共に若い方達が参加してくれるような魅力ある会の運営ができたらと思っています。

《八重山栄養士会部会》

神里 朋美

当部会では食育活動を中心に平成 20 年度も活動してまいりました。

部会の活動目標として 地域に根ざした会活動の展開・広報活動の強化、

県栄養士会との連携

定期的な拡大役員会の実施、

各班活動の強化及び研修会の開催 を掲げています。

具体的な活動として『八島小学校食育事業』における食事分析協力・研修会講師派遣をはじめ、『乳幼児健診栄養指導マニュアル』を作成し学習会の開催、県栄養士会主催『地域活動栄養士研修会（離島開催）』への参加協力等、食育の必要性を改めて実感する 1 年となりました。

協力事業として石垣市主催の健康福祉まつりにおいて『脱メタボ宣言！はじめの一步は食事から！』をテーマに八重山栄養士会コーナーの設置、母子保健事業（乳幼児健診）への支援協力、保健所主催『ヘルシーメニューコンテスト』の共催開催、県腎臓病連絡協議会主催『八重山地区料理教室』への講師派遣等、活動範囲が広がりつつあります。

今後は一緒に活動していく県栄養士会会員の増加をはかり、各専門班活動の充実と個々の会員のレベルアップを図る部会活動を展開し、地域住民の皆様の健康増進に関わっていきたいと思います。

《糖尿病療養部会》

福里 勝子

当部会の主な活動内容は、糖尿病に関する研究、研修会の開催、日糖協県支部が主催する小児糖尿病サマーキャンプ、全国糖尿病週間等の協力と、部会員への弥生、さかえの発送作業を行っています。

8 月に行われるサマーキャンプにおいては、4 ヶ月前から準備を進め、栄養士による勉強会や 1 型ヤング、親御さんとの交流会を行い、食事と血糖値との関係やカーボカウントについて理解を深めました。キャンプにおいては、新しい試みで、毎食前にスライドで食事内容を示し、カーボ量の計算をしてもらいました。

また、昨年に引き続き、食品及び料理による食後血糖値の変化についての研究では、沖縄そば摂取後の血糖曲線パターンを調べました。今後も沖縄独特の料理について研究を重ね、サマーキャンプや日々の栄養指導業務に生かしていきたいと考えています。

小児糖尿病サマーキャンプや全国糖尿病週間、食品及び料理による食後血糖値の変化についての研究には、各施設、多くの方々の参加、協力がありました。参加、協力された皆様、どうもありがとうございました。

今年も、昨年のこれらの活動を基に、さらなるレベルアップを図りたいと考えていますので、ご協力の程、宜しくお願い致します。